

各 位

平成 23 年 3 月 29 日

株式会社 みなと銀行

「兵庫県内中小企業の景況調査（第二回）」の実施について

株式会社 みなと銀行（頭取 尾野俊二）は、兵庫県内のお取引先中小企業のご協力を得て、県内中小企業の景況調査（第二回）を実施しましたので、調査結果をお知らせします。

本調査は、みなと銀行の県下全域にわたる支店ネットワークを活用し、小規模企業を含む地元中小企業の皆さまが実際に肌で感じておられる景況感などを幅広く把握し、地域金融機関としてお役に立つ情報を発信していくことを目指して、昨年 11 月より実施しているものです。

今後についても、四半期毎に実施し、地域の皆さまのご意見、ご判断をより反映した調査となるよう努めてまいります。

景況調査の概要

実施時期	平成 23 年 2 月（東日本大震災に伴う影響は含まれておりません）
調査対象	兵庫県内に本社を置くみなと銀行のお取引先中小企業 対象先：1,400 先、うち有効回答：1,039 先 （有効回答率 74.2%）
実施要領	原則、お客さまからの直接聞き取り
質問事項	景況感、売上、経常利益などに関する判断 D I 等

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以上

本件に関するお問い合わせ先
企画部 調査広報室 中島 TEL:078-333-3247

兵庫県内中小企業の景況調査

(2011年1月～3月期)

※調査時点が11年2月であるため、各種判断D I は東日本大震災に伴う影響は含まない。

【調査結果】

・前回調査と比べて、『非製造業』は景況・売上高とも改善傾向にあると判断しているものの、『製造業』は厳しい状況が続いている結果となった。
 ・全体的に販売単価の下落に歯止めがかりつつあるが、採算面が改善するには至らず、利益の確保は依然として厳しいと判断している。

・前回調査同様、資金繰りに明るさは見えず、特に従業員規模の小さい企業ほど厳しい状況が続いている。
 ・『医療・保健衛生』は、売上・利益とも好調で、引き続き雇用の不足感が強いという回答であった。

回答企業の内訳

【業種】	社数	構成比(%)
製造業	329	31.7
建設業	161	15.5
卸売業	157	15.1
小売業	67	6.4
不動産業	66	6.4
運輸業	58	5.6
飲食業	13	1.3
医療・保健衛生	31	3.0
サービス業	92	8.9
その他	53	5.1
小計	698	67.2
無回答	12	1.2
合計	1,039	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)
小規模企業	77	7.4
5名以下	106	10.2
6～10名	183	17.6
小計	203	19.5
中小企業	299	28.8
11～20名	173	16.7
21～50名	675	65.0
小計	106	10.2
中堅企業	65	6.3
101～200名	171	16.5
201名以上	10	1.0
無回答	10	1.0
合計	1,039	100.0

※D I (Diffusion Index)

【例】景況判断D I = 「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合

調査 みなと銀行
 集計 ひょうご経済研究所
 分析

調査方法等
 ・調査時点
 ・調査対象
 ・調査方法
 ・依頼先数
 ・有効回答数

2011年2月
 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
 原則訪問(聞き取り)によるアンケート調査
 1400社
 1039社(有効回答率74.2%)

1 景況判断

景況判断は3.6ポイント改善

最近の『全産業』の景況判断D Iは▲30.9と、前回調査(3カ月前)に比べて3.6ポイント改善した。

業種別には、『非製造業』が▲30.5と7.1ポイント改善したのに対し、『製造業』は4.9ポイント悪化の▲31.5であった。

今後3カ月の見通しは、『全産業』では最近3カ月比0.3ポイント改善の▲30.6と、ほぼ横ばいを見込む。

項目	「良い」-「悪い」		
	前回調査	今回調査	
	最近3ヵ月 (2010年 10～12月)	最近3ヵ月 (2011年 1～3月)	今後3ヵ月 (2011年 4～6月)
全産業	▲34.5	▲30.9	▲30.6
小規模企業	▲37.8	▲33.1	▲35.4
中小企業	▲35.3	▲30.2	▲30.9
中堅企業	▲26.9	▲31.6	▲25.3
製造業	▲26.6	▲31.5	▲30.7
小規模企業	▲15.0	0.0	▲25.0
中小企業	▲28.1	▲33.0	▲31.9
中堅企業	▲24.6	▲40.0	▲27.7
非製造業	▲37.6	▲30.5	▲30.6
小規模企業	▲41.3	▲38.8	▲37.5
中小企業	▲38.6	▲28.7	▲30.4
中堅企業	▲27.7	▲25.7	▲23.1

2 売上高判断

販売数量判断・販売単価判断ともに改善

『全産業』の売上高判断D Iは▲6.6と、前回調査比5.0ポイント改善した。これは、販売数量が0.6ポイント、販売単価が5.8ポイントといずれも改善したことによる。

業種別には、『非製造業』が▲8.8と9.1ポイント改善したのに対し、『製造業』は3.7ポイント悪化の▲0.9であった。

今後3カ月の見通しは、『全産業』では、最近3カ月比0.8ポイント改善の▲5.8と若干の改善を見込む。

項目	「増加」-「減少」、「上昇」-「下落」		
	前回調査	今回調査	
	最近3ヵ月 (2010年 10～12月)	最近3ヵ月 (2011年 1～3月)	今後3ヵ月 (2011年 4～6月)
全産業	▲11.6	▲6.6	▲5.8
販売数量	▲7.3	▲6.7	▲6.8
小規模企業	▲15.8	▲16.9	▲21.5
中小企業	▲5.1	▲5.5	▲6.0
中堅企業	▲5.0	▲0.6	5.6
販売単価	▲28.9	▲23.1	▲18.4
小規模企業	▲36.7	▲24.0	▲20.5
中小企業	▲27.3	▲21.8	▲17.3
中堅企業	▲27.1	▲27.3	▲20.2
製造業	2.8	▲0.9	▲0.3
販売数量	7.1	1.2	1.9
販売単価	▲23.3	▲27.0	▲21.3
非製造業	▲17.9	▲8.8	▲8.2
販売数量	▲13.8	▲10.6	▲11.0
販売単価	▲31.6	▲21.0	▲17.1

3 経常利益判断 製造業が悪化

『全産業』の経常利益判断DIは0.3ポイント悪化の▲10.1である。『非製造業』のうち『中小企業』が大幅に改善したのに対し、『製造業』は全体で11.4ポイント悪化した。

4 在庫判断

適正企業が大半、過剰感が少し膨らむ

「適正」という企業が83.2%と大半。『全産業』の在庫判断DIは、1.8ポイント悪化の▲6.2となり、在庫に過剰感のある企業が幾分増加した。

5 資金繰り判断

引き続き、規模の小さい企業で苦戦

『全産業』の資金繰り判断DIは、1.2ポイント悪化の▲6.5である。規模別には、『小規模企業』が▲17.1、『中小企業』が▲8.0であるなど、従業員規模の小さい企業に「苦しい」とする先が多い。

6 雇用判断

適正企業が大半、不足感が少し高まる

「適正」という企業が77.7%と大半。『全産業』の雇用判断DIは3.4と、前回調査比1.6ポイント不足感が高まった。業種別には、『製造業』では過剰感が低下し、『非製造業』は不足感が高まった。

項目	3. 経常利益判断			4. 在庫判断			5. 資金繰り判断			6. 雇用判断		
	前回調査		今回調査	前回調査		今回調査	前回調査		今回調査	前回調査		今回調査
	最近3ヵ月	最近3ヵ月	今後3ヵ月	最近3ヵ月	最近3ヵ月	今後3ヵ月	最近3ヵ月	最近3ヵ月	今後3ヵ月	最近3ヵ月	最近3ヵ月	今後3ヵ月
	(2010年 10~12月)	(2011年 1~3月)	(2011年 4~6月)	(2010年 10~12月)	(2011年 1~3月)	(2011年 4~6月)	(2010年 10~12月)	(2011年 1~3月)	(2011年 4~6月)	(2010年 10~12月)	(2011年 1~3月)	(2011年 4~6月)
全産業	▲9.8	▲10.1	▲10.7	▲4.4	▲6.2	▲3.2	▲5.3	▲6.5	▲8.2	1.8	3.4	0.7
小規模企業	▲8.4	▲16.5	▲19.2	1.6	▲2.9	▲2.3	▲17.4	▲17.1	▲18.2	6.3	4.4	1.7
中小企業	▲11.8	▲7.9	▲10.2	▲6.0	▲7.9	▲4.6	▲6.2	▲8.0	▲10.0	▲1.1	2.5	0.6
中堅企業	▲2.1	▲10.1	▲2.9	▲2.2	▲3.9	0.6	10.8	10.1	8.8	7.4	5.3	0.0
製造業	▲1.1	▲12.5	▲14.0	▲10.0	▲11.8	▲6.9	▲2.5	▲6.1	▲8.6	▲4.9	▲1.2	▲4.0
小規模企業	35.0	3.6	▲7.1	0.0	0.0	▲3.7	▲30.0	▲21.4	▲21.4	15.0	7.1	▲3.6
中小企業	▲2.5	▲14.9	▲17.9	▲11.7	▲14.0	▲8.8	▲3.0	▲8.9	▲11.5	▲7.0	▲4.3	▲4.7
中堅企業	▲6.5	▲10.8	▲3.1	▲8.1	▲9.4	▲1.6	8.1	10.9	7.8	▲4.8	4.6	▲1.5
非製造業	▲13.6	▲8.3	▲9.0	▲0.6	▲3.4	▲1.6	▲6.2	▲6.6	▲7.9	5.2	5.5	2.8
小規模企業	▲14.9	▲19.6	▲20.9	2.9	▲3.4	▲2.1	▲14.8	▲16.4	▲17.8	4.9	4.0	2.6
中小企業	▲16.6	▲3.7	▲6.3	▲2.5	▲4.0	▲2.2	▲7.9	▲7.4	▲9.1	2.5	5.8	3.0
中堅企業	1.2	▲8.7	▲1.9	2.8	0.0	2.2	12.9	9.6	9.5	16.5	6.7	1.9

7 新入社員の採用状況

「採用の予定なし」は、『小規模企業』が8.3%、『中小企業』が70.8%、『中堅企業』が38.0%と全体では約7割の企業が新規採用を見送る中、『中堅企業』では新入社員を「厳選できた」とする先が多かった。

8 後継者について

「考えている」は、『小規模企業』が49.7%と約5割であるのに対し、『中小企業』が60.9%、『中堅企業』が59.6%と約6割である。

	全企業	小規模企業	中小企業	中堅企業
多数の応募があり厳選できた	10.5	1.6	9.0	26.3
何とか採用予定数を確保	11.9	2.7	11.4	24.6
採用予定数に満たず	3.3	1.1	3.1	6.4
募集したが応募なし	2.4	2.7	2.4	1.8
採用の予定なし	68.2	86.3	70.8	38.0
無回答	3.7	5.5	3.3	2.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

	全企業	小規模企業	中小企業	中堅企業
考えている	58.5	49.7	60.9	59.6
考えていない	20.6	29.0	19.6	14.0
わからない	19.5	19.7	18.1	25.7
無回答	1.3	1.6	1.5	0.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

「トピックス」花見の予定

花見の予定を尋ねたところ、「行く」が27.5%、「行かない」が70.7%、「無回答」が1.7%。

花見予定先(複数回答)は、「会社敷地内」と「須磨浦公園」が12件で最も多く、以下、「夙川公園」が11件と続く。花見を予定している企業の大半が近所で行う予定。

	行く	行かない	無回答	合計
全体	27.5	70.7	1.7	100.0

順位	名称	所在地	件数
1位	会社敷地内		12
1位	須磨浦公園	神戸市須磨区	12
3位	夙川公園	西宮市	11
4位	明石公園	明石市	10
5位	姫路城	姫路市	7
6位	王子動物園	神戸市灘区	6

兵庫県内中小企業の景況調査

(2011年1～3月期)

〔目 次〕

I. 調査方法等	1
II. 調査結果の概要	2
III. 個別項目の動向	
1. 景況判断	3
2. 売上高判断	4
3. 経常利益判断	5
4. 在庫判断	6
5. 資金繰り判断	7
6. 雇用判断	8
7. 新入社員の採用状況	9
8. 後継者について	10
9. トピックス	11
IV. 【参考】景況判断の内訳明細	12

本調査に関する問い合わせ先
みなと銀行 法人業務部 (担当: 戸田)
TEL (078) 333 - 3283

I. 調査方法等

- ◆調査時点 2011年2月
- ◆調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先中小企業
- ◆調査方法 原則訪問(聞き取り)によるアンケート調査
- ◆依頼先数 1,400社
- ◆有効回答数 1,039社(有効回答率74.2%)
- ◆集計・分析 財団法人ひょうご経済研究所

〔回答企業の内訳〕

【所在地】

	社数	構成比(%)
神戸地域	414	39.8
阪神地域	79	7.6
播磨地域	354	34.1
丹波・但馬地域	70	6.7
淡路地域	82	7.9
無回答	40	3.8
合計	1,039	100.0

神戸地域・・・神戸市
 阪神地域・・・尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)
 播磨地域・・・姫路市、明石市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、多可郡(多可町)、加古郡(稲美町、播磨町)、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)、神崎郡(市川町、福崎町、神河町)、佐用郡(佐用町)
 丹波・但馬地域・・・篠山市、丹波市、豊岡市、養父市、朝来市、美方郡(香美町、新温泉町)
 淡路地域・・・洲本市、南あわじ市、淡路市

【業種】

	社数	構成比(%)	
製造業	329	31.7	
非製造業	建設業	161	15.5
	卸売業	157	15.1
	小売業	67	6.4
	不動産業	66	6.4
	運輸業	58	5.6
	飲食業	13	1.3
	医療・保健衛生	31	3.0
	サービス業	92	8.9
	その他	53	5.1
小計	698	67.2	
無回答	12	1.2	
合計	1,039	100.0	

【資本金】

	社数	構成比(%)
500万円以下	47	4.5
500万円超～1千万円以下	272	26.2
1千万円超～2千万円以下	238	22.9
2千万円超～3千万円以下	127	12.2
3千万円超～5千万円以下	170	16.4
5千万円超～1億円以下	131	12.6
1億円超	41	3.9
無回答	13	1.3
合計	1,039	100.0

【従業員数】

	社数	構成比(%)	
小規模企業	5名以下	77	7.4
	6～10名	106	10.2
	小計	183	17.6
中小企業	11～20名	203	19.5
	21～50名	299	28.8
	51～100名	173	16.7
	小計	675	65.0
中堅企業	101～200名	106	10.2
	201名以上	65	6.3
	小計	171	16.5
無回答	10	1.0	
合計	1,039	100.0	

〔各種判断DIについて〕

※ DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合(%) - 「悪い」と回答した企業の割合(%)

II. 調査結果の概要

※ 調査時点が 2011 年 2 月であるため、各種判断DIにつきましては、東日本大震災に伴う影響は含んでおりません。

- ・前回調査と比べて、『非製造業』は景況・売上高とも改善傾向にあると判断しているものの、『製造業』は厳しい状況が続いている結果となった。
- ・全体的に販売単価の下落に歯止めがかかりつつあるが、採算面が改善するには至らず、利益の確保は依然として厳しいと判断している。
- ・前回調査同様、資金繰りに明るさは見えず、特に従業員規模の小さい企業ほど厳しい状況が続いている。
- ・『医療・保健衛生』は、売上・利益とも好調で、引き続き雇用の不足感が強いという回答であった。

景況判断DIは3.6ポイント改善の▲30.9
先行きは▲30.6とほぼ横ばいを見込む

項目	最近3ヵ月 〔2011年1～3月〕	今後3ヵ月 〔2011年4～6月〕
景況判断 「良い」-「悪い」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 3.6 ポイント改善の▲30.9 ・製造業は 4.9 ポイント悪化の▲31.5。 ・非製造業は 7.1 ポイント改善の▲30.5。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では▲30.6とほぼ横ばい予想。 ・製造業は若干の改善、非製造業はほぼ横ばいを見込む。
売上高判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量判断、販売単価判断ともに改善しており、全産業の売上高判断は 5.0 ポイント改善の▲6.6。 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量判断は横ばい、販売単価判断は改善予想であり、売上高判断は▲5.8と若干の改善を見込む。
経常利益判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 0.3 ポイント悪化の▲10.1。 ・製造業は 11.4 ポイント悪化の▲12.5。 ・非製造業は 5.3 ポイント改善の▲8.3。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では▲10.7と若干の悪化の悪化を見込む。 ・製造業、非製造業ともに悪化見通し。
在庫判断 「不足」-「過剰」	<ul style="list-style-type: none"> ・「適正」という企業が 83.2%と大半。 ・全産業では、1.8 ポイント悪化の▲6.2と過剰感のある企業が幾分増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも「適正」とする企業が多く、全産業では▲3.2と若干の改善を見込む。
資金繰り判断 「楽である」 -「苦しい」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 1.2 ポイント悪化の▲6.5と「苦しい」とする企業が幾分増加。 ・規模別には、規模が小さい先ほど「苦しい」とする企業が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では▲8.2と「苦しい」とする企業が幾分増加する見通し。 ・引き続き規模が小さい先ほど「苦しい」とする企業が多い。
雇用判断 「不足」-「過剰」	<ul style="list-style-type: none"> ・「適正」という企業が 77.7%と大半。 ・全産業では 3.4と前回調査比 1.6ポイント不足感が高まった。 ・製造業が▲1.2と「過剰」、非製造業が 5.5と「不足」である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも「適正」とする企業が多いが、全産業では 0.7と「不足」先が減少する見通し。 ・製造業で過剰感の増幅、非製造業で不足感の低下を見込む。
新入社員採用	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では、「予定数を採用できた」が 22.4%。「採用の予定なし」が 68.2%。 ・中堅企業では、新入社員を「厳選できた」とする先が多かった。 	/
後継者	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では、「考えている」が 58.5%、「考えていない」が 20.6%。 ・「考えている」会社の後継予定者は、「子ども」が 60.7%。 	/

Ⅲ. 個別項目の動向

1. 景況判断

(1) 最近3ヵ月 [2011年1月～3月]

全産業・・・最近3ヵ月の景況判断DI(「良い」-「悪い」)は、「悪い」とする企業が減少したことを受け、▲30.9と前回調査(2010年10～12月期)に比べて3.6ポイント改善した。

業種別・・・『非製造業』が▲30.5と7.1ポイント改善したのに対し、『製造業』は4.9ポイント悪化の▲31.5であった。

規模別・・・『小規模企業』(従業員数10名以下)が4.7ポイント改善の▲33.1、『中小企業』(同11～100名)が5.1ポイント改善の▲30.2といずれも改善しているのに対し、『中堅企業』(同101名以上)は4.7ポイント悪化の▲31.6となっている。

【参考】

地域別・・・『丹波・但馬地域』が▲40.6、『淡路地域』が▲51.2と、他の地域に比べて厳しい景況判断となっている。

業種別・・・『医療・保健衛生』のみ6.5とDIがプラスになっており、他の業種ほど厳しい景況判断をしていない。

(2) 今後3ヵ月 [2011年4月～6月]

全産業・・・今後3ヵ月の見通しは、最近3ヵ月比0.3ポイント改善の▲30.6と、ほぼ横ばいを見込む。

業種別・・・『製造業』が0.8ポイント改善の▲30.7と若干の改善予想であるのに対し、『非製造業』は0.1ポイント悪化の▲30.6とほぼ横ばい予想である。

規模別・・・『小規模企業』が2.3ポイント悪化の▲35.4、『中小企業』が0.7ポイント悪化の▲30.9といずれも悪化予想であるのに対し、『中堅企業』は6.3ポイント改善の▲25.3となっている。

項目	前回調査	今回調査	
	最近3ヵ月 〔2010年 10～12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1～3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4～6月〕
全産業	▲34.5	▲30.9	▲30.6
小規模企業	▲37.8	▲33.1	▲35.4
中小企業	▲35.3	▲30.2	▲30.9
中堅企業	▲26.9	▲31.6	▲25.3
製造業	▲26.6	▲31.5	▲30.7
小規模企業	▲15.0	0.0	▲25.0
中小企業	▲28.1	▲33.0	▲31.9
中堅企業	▲24.6	▲40.0	▲27.7
非製造業	▲37.6	▲30.5	▲30.6
小規模企業	▲41.3	▲38.8	▲37.5
中小企業	▲38.6	▲28.7	▲30.4
中堅企業	▲27.7	▲25.7	▲23.1

【参考】

項目	前回調査	今回調査		
	最近3ヵ月 〔2010年 10～12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1～3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4～6月〕	
地域別	神戸地域	▲38.7	▲29.6	▲29.0
	阪神地域	▲40.0	▲17.9	▲17.9
	播磨地域	▲32.2	▲30.0	▲29.5
	丹波・但馬地域	▲10.7	▲40.6	▲36.8
	淡路地域	▲31.8	▲51.2	▲53.7
業種別	製造業	▲26.6	▲31.5	▲30.7
	建設業	▲39.5	▲28.0	▲38.8
	卸売業	▲42.7	▲47.8	▲40.4
	小売業	▲49.0	▲37.3	▲44.8
	不動産業	▲36.4	▲23.1	▲10.9
	運輸業	▲13.5	▲13.8	▲19.3
	飲食業	▲55.6	▲46.2	▲30.8
	医療・保健衛生	▲3.3	6.5	6.7
	サービス業	▲46.9	▲23.9	▲19.6
	その他	▲28.9	▲32.1	▲34.0

2. 売上高判断

(1) 最近3ヵ月 [2011年1月~3月]

全産業・・・最近3ヵ月の売上高判断DI(「増加」-「減少」)は、「減少」とする企業が減ったことを受け、▲6.6と前回調査に比べて5.0ポイント改善した。その内訳は、販売数量判断DI(「増加」-「減少」)が0.6ポイント改善の▲6.7、販売単価DI(「上昇」-「下落」)も5.8ポイント改善の▲23.1と、数量、単価ともに改善した。

業種別・・・『非製造業』が▲8.8と9.1ポイント改善したのに対し、『製造業』は3.7ポイント悪化の▲0.9であった。それぞれの内訳(販売数量DIと販売単価DI)をみると、『製造業』は数量、単価ともに悪化、『非製造業』は数量、単価ともに改善となっている。

【参考】

地域別・・・『丹波・但馬地域』が▲19.1、『淡路地域』が▲18.3と、売上高判断DIのマイナス幅が他の地域に比べて大きい。

業種別・・・『医療・保健衛生』が35.5と、売上高判断DIのプラス幅が他の業種に比べて大きい。

(2) 今後3ヵ月 [2011年4月~6月]

全産業・・・今後3ヵ月の売上高判断DIの見通しは、最近3ヵ月比0.8ポイント改善の▲5.8と若干の改善を見込む。その内訳は、販売数量判断DIが0.1ポイント悪化の▲6.8とほぼ横ばい、販売単価DIが▲18.4と4.7ポイントの改善を見込む。

業種別・・・『製造業』が0.6ポイント改善の▲0.3、『非製造業』が0.6ポイント改善の▲8.2といずれも改善見通しである。

項目	前回調査		今回調査	
	「増加」-「減少」、「上昇」-「下落」		「増加」-「減少」、「上昇」-「下落」	
	最近3ヵ月 〔2010年 10~12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1~3月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1~3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4~6月〕
全産業	▲11.6	▲6.6	▲6.6	▲5.8
販売数量	▲7.3	▲6.7	▲6.7	▲6.8
小規模企業	▲15.8	▲16.9	▲16.9	▲21.5
中小企業	▲5.1	▲5.5	▲5.5	▲6.0
中堅企業	▲5.0	▲0.6	▲0.6	5.6
販売単価	▲28.9	▲23.1	▲23.1	▲18.4
小規模企業	▲36.7	▲24.0	▲24.0	▲20.5
中小企業	▲27.3	▲21.8	▲21.8	▲17.3
中堅企業	▲27.1	▲27.3	▲27.3	▲20.2
製造業	2.8	▲0.9	▲0.9	▲0.3
販売数量	7.1	1.2	1.2	1.9
販売単価	▲23.3	▲27.0	▲27.0	▲21.3
非製造業	▲17.9	▲8.8	▲8.8	▲8.2
販売数量	▲13.8	▲10.6	▲10.6	▲11.0
販売単価	▲31.6	▲21.0	▲21.0	▲17.1

項目	前回調査		今回調査	
	「増加」-「減少」、「上昇」-「下落」		「増加」-「減少」、「上昇」-「下落」	
	最近3ヵ月 〔2010年 10~12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1~3月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1~3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4~6月〕
地域別	神戸地域	▲15.8	▲6.5	▲5.6
	阪神地域	▲12.7	1.3	10.4
	播磨地域	▲9.9	▲1.1	▲3.2
	丹波・但馬地域	13.8	▲19.1	▲11.9
	淡路地域	▲18.2	▲18.3	▲23.2
	製造業	2.8	▲0.9	▲0.3
業種別 非製造業	建設業	▲28.0	▲8.7	▲18.6
	卸売業	▲17.3	▲20.0	▲7.7
	小売業	▲27.1	▲21.5	▲20.3
	不動産業	▲25.0	▲3.0	6.2
	運輸業	5.4	6.9	▲3.5
	飲食業	▲11.1	▲30.8	▲15.4
	医療・保健衛生	26.7	35.5	22.6
	サービス業	▲30.8	▲7.7	2.2
	その他	▲2.6	▲5.7	▲17.3

3. 経常利益判断

(1) 最近3ヵ月 [2011年1月~3月]

全産業・・・最近3ヵ月の経常利益判断DI(「増加」-「減少」)は、前回調査に比べて0.3ポイント悪化の▲10.1とほぼ横ばいであった。

業種別・・・『非製造業』は『中小企業』が大幅に改善したのを受け、全体では5.3ポイント改善の▲8.3となったのに対し、『製造業』は規模に関わらず悪化し、全体では11.4ポイント悪化の▲12.5となった。

規模別・・・『小規模企業』が8.1ポイント悪化の▲16.5、『中堅企業』が8.0ポイント悪化の▲10.1といずれも悪化しているのに対し、『中小企業』は3.9ポイント改善の▲7.9となっている。

【参考】

地域別・・・『阪神地域』が9.3ポイント改善の5.1と、この地域のみDIがプラスとなっており、他の地域に比べて好調な企業が多い。

業種別・・・『医療・保健衛生』が13.3ポイント改善の20.0となっており、他の業種に比べて好調な企業が多い。

(2) 今後3ヵ月 [2011年4月~6月]

全産業・・・今後3ヵ月の見通しは、最近3ヵ月比0.6ポイント悪化の▲10.7と若干の悪化を見込む。

業種別・・・『製造業』が1.5ポイント悪化の▲14.0、『非製造業』が0.7ポイント悪化の▲9.0といずれも悪化見通しである。

規模別・・・『小規模企業』が2.7ポイント悪化の▲19.2、『中小企業』が2.3ポイント悪化の▲10.2といずれも悪化を予想しているのに対し、『中堅企業』は▲2.9と7.2ポイントの改善を見込む。

項目	「増加」-「減少」		
	前回調査	今回調査	
	最近3ヵ月 〔2010年 10~12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1~3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4~6月〕
全産業	▲ 9.8	▲ 10.1	▲ 10.7
小規模企業	▲ 8.4	▲ 16.5	▲ 19.2
中小企業	▲ 11.8	▲ 7.9	▲ 10.2
中堅企業	▲ 2.1	▲ 10.1	▲ 2.9
製造業	▲ 1.1	▲ 12.5	▲ 14.0
小規模企業	35.0	3.6	▲ 7.1
中小企業	▲ 2.5	▲ 14.9	▲ 17.9
中堅企業	▲ 6.5	▲ 10.8	▲ 3.1
非製造業	▲ 13.6	▲ 8.3	▲ 9.0
小規模企業	▲ 14.9	▲ 19.6	▲ 20.9
中小企業	▲ 16.6	▲ 3.7	▲ 6.3
中堅企業	1.2	▲ 8.7	▲ 1.9

項目	「増加」-「減少」			
	前回調査	今回調査		
	最近3ヵ月 〔2010年 10~12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1~3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4~6月〕	
地域別	神戸地域	▲ 8.8	▲ 4.4	▲ 4.6
	阪神地域	▲ 4.2	5.1	7.6
	播磨地域	▲ 13.2	▲ 13.9	▲ 14.9
	丹波・但馬地域	17.2	▲ 15.9	▲ 17.4
	淡路地域	▲ 25.6	▲ 22.0	▲ 28.0
業種別	製造業	▲ 1.1	▲ 12.5	▲ 14.0
	建設業	▲ 31.5	▲ 16.3	▲ 20.5
	卸売業	▲ 16.1	▲ 12.3	▲ 9.1
	小売業	▲ 14.3	▲ 19.4	▲ 28.8
	不動産業	▲ 7.1	▲ 1.5	9.1
	運輸業	29.7	10.5	0.0
	飲食業	0.0	▲ 23.1	▲ 15.4
	医療・保健衛生	6.7	20.0	16.7
	サービス業	▲ 24.6	▲ 4.3	▲ 1.1
	その他	2.5	▲ 5.7	▲ 7.5

4. 在庫判断

(1) 最近3ヵ月 [2011年1月～3月]

全産業・・・「適正」という企業が83.2%と大半を占める。最近3ヵ月の在庫判断DI(「不足」-「過剰」)は、前回調査に比べて1.8ポイント悪化の▲6.2と、在庫に過剰感のある企業が幾分増加した。

業種別・・・『製造業』が1.8ポイント悪化の▲11.8、『非製造業』が2.8ポイント悪化の▲3.4となっており、『製造業』において在庫に過剰感のある企業が多い。

規模別・・・『小規模企業』が4.5ポイント悪化の▲2.9、『中小企業』が1.9ポイント悪化の▲7.9、『中堅企業』が1.7ポイント悪化の▲3.9と、いずれも在庫に過剰感のある企業が増加した。

【参考】

地域別・・・『淡路地域』が8.7ポイント悪化の▲8.7と、在庫に過剰感のある企業の増え方が他の地域より多い。

業種別・・・『卸売業』が▲10.3、『小売業』が▲11.9と、在庫に過剰感のある企業が幾分多くなっている。

(2) 今後3ヵ月 [2011年4月～6月]

全産業・・・今後3ヵ月の見通しは、最近3ヵ月比3.0ポイント改善の▲3.2と、過剰在庫を抱える企業が減少するとの予想である。

業種別・・・『製造業』が4.9ポイント改善の▲6.9、『非製造業』が1.8ポイント改善の▲1.6と、いずれも改善予想である。

規模別・・・『小規模企業』が0.6ポイント改善の▲2.3、『中小企業』が3.3ポイント改善の▲4.6、『中堅企業』が4.5ポイント改善の0.6と、いずれも改善予想である。

項目	前回調査	今回調査	
	最近3ヵ月 〔2010年 10～12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1～3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4～6月〕
全産業	▲4.4	※ ▲6.2	▲3.2
小規模企業	1.6	▲2.9	▲2.3
中小企業	▲6.0	▲7.9	▲4.6
中堅企業	▲2.2	▲3.9	0.6
製造業	▲10.0	▲11.8	▲6.9
小規模企業	0.0	0.0	▲3.7
中小企業	▲11.7	▲14.0	▲8.8
中堅企業	▲8.1	▲9.4	▲1.6
非製造業	▲0.6	▲3.4	▲1.6
小規模企業	2.9	▲3.4	▲2.1
中小企業	▲2.5	▲4.0	▲2.2
中堅企業	2.8	0.0	2.2

※全産業の在庫判断(最近3ヵ月)の内訳

「不足」5.3% 「適正」83.2% 「過剰」11.5%

【参考】

項目	前回調査	今回調査		
	最近3ヵ月 〔2010年 10～12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1～3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4～6月〕	
地域別	神戸地域	▲2.7	▲6.7	▲3.3
	阪神地域	0.0	▲1.5	2.9
	播磨地域	▲6.7	▲6.6	▲2.7
	丹波・但馬地域	▲3.7	▲6.1	▲4.5
	淡路地域	0.0	▲8.7	▲13.0
業種別	製造業	▲10.0	▲11.8	▲6.9
	建設業	2.9	1.5	2.3
	卸売業	▲9.5	▲10.3	▲5.2
	小売業	▲4.1	▲11.9	▲11.9
	不動産業	11.8	1.6	4.8

5. 資金繰り判断

(1) 最近3ヵ月 [2011年1月～3月]

全産業・・・最近3ヵ月の資金繰り判断DI(「楽である」-「苦しい」)は、資金繰りが「楽である」とする企業が幾分減少したことから、前回調査に比べて1.2ポイント悪化の▲6.5であった。

業種別・・・『製造業』が3.6ポイント悪化の▲6.1、『非製造業』が0.4ポイント悪化の▲6.6と、ともに悪化した。

規模別・・・『小規模企業』が▲17.1、『中小企業』が▲8.0、『中堅企業』が10.1となっており、従業員規模の小さい企業ほど資金繰りが「苦しい」とする企業が多い。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』が1.2とDIがプラスであるのに対し、『丹波・但馬地域』が▲20.3であるなど、地域による差が大きい。

業種別・・・『医療・保健衛生』は、資金繰りが「苦しい」とする企業が少ないことから、DIは13.3とプラスとなっている。

(2) 今後3ヵ月 [2011年4月～6月]

全産業・・・今後3ヵ月の見通しは、資金繰りが「楽である」と予想する企業が幾分減少することを受け、最近3ヵ月比1.7ポイント悪化の▲8.2を見込む。

業種別・・・『製造業』が2.5ポイント悪化の▲8.6、『非製造業』が1.3ポイント悪化の▲7.9といずれも悪化見通しである。

規模別・・・『小規模企業』が1.1ポイント悪化の▲18.2、『中小企業』が2.0ポイント悪化の▲10.0、『中堅企業』は1.3ポイント悪化の8.8といずれも悪化見通しである。

項目	前回調査	今回調査	
	最近3ヵ月 〔2010年 10～12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1～3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4～6月〕
全産業	▲5.3	▲6.5	▲8.2
小規模企業	▲17.4	▲17.1	▲18.2
中小企業	▲6.2	▲8.0	▲10.0
中堅企業	10.8	10.1	8.8
製造業	▲2.5	▲6.1	▲8.6
小規模企業	▲30.0	▲21.4	▲21.4
中小企業	▲3.0	▲8.9	▲11.5
中堅企業	8.1	10.9	7.8
非製造業	▲6.2	▲6.6	▲7.9
小規模企業	▲14.8	▲16.4	▲17.8
中小企業	▲7.9	▲7.4	▲9.1
中堅企業	12.9	9.6	9.5

【参考】

項目	前回調査	今回調査		
	最近3ヵ月 〔2010年 10～12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1～3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4～6月〕	
地域別	神戸地域	▲0.6	1.2	0.5
	阪神地域	▲9.7	▲8.9	▲13.9
	播磨地域	▲6.1	▲10.5	▲12.2
	丹波・但馬地域	▲27.6	▲20.3	▲23.2
	淡路地域	▲11.4	▲14.6	▲19.5
業種別	製造業	▲2.5	▲6.1	▲8.6
	建設業	▲8.8	▲3.1	▲6.8
	卸売業	▲4.7	▲10.3	▲11.0
	小売業	▲2.0	▲7.5	▲16.4
	不動産業	▲5.4	▲1.5	4.5
	運輸業	▲23.7	▲5.2	▲3.5
	飲食業	▲11.1	▲15.4	▲15.4
	医療・保健衛生	9.7	13.3	13.3
	サービス業	▲3.1	▲13.0	▲12.0
	その他	▲10.0	▲11.3	▲15.1

6. 雇用判断

(1) 最近3ヵ月 [2011年1月～3月]

全産業・・・「適正」という企業が77.7%と大半を占める。最近3ヵ月の景況判断DI(「不足」-「過剰」)は、「不足」とする企業が幾分増えたことから3.4と、前回調査に比べて1.6ポイント不足感が高まった。

業種別・・・『製造業』は過剰感が3.7ポイント改善して▲1.2、『非製造業』は不足感が0.3ポイント高まり5.5となっており、『製造業』において雇用に過剰感のある企業が幾分多い。

規模別・・・『小規模企業』が4.4、『中小企業』が2.5、『中堅企業』が5.3となっており、規模の大きさによらず一部の企業に雇用に不足感がある。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』が7.8、『阪神地域』が11.4と雇用に不足感のある企業が幾分多いのに対し、『淡路地域』が▲12.3と逆に過剰感のある企業が多い。

業種別・・・雇用に不足感を持つ業種のうち、『飲食業』が23.1、『医療・保健衛生』が20.0、『サービス業』が17.4となっており、不足感が大きい。

(2) 今後3ヵ月 [2011年4月～6月]

全産業・・・今後3ヵ月の見通しは、「不足」とする企業が減少することから、不足感が最近3ヵ月比2.7ポイント低下し0.7を見込む。

業種別・・・『製造業』は過剰感が2.8ポイント上昇の▲4.0、『非製造業』は不足感が2.7ポイント低下の2.8を見込む。

規模別・・・いずれも過剰感の低下を見込んでおり、『小規模企業』が2.7ポイント低下の1.7、『中小企業』が1.9ポイント低下の0.6、『中堅企業』は5.3ポイント低下の0.0となっている。

「不足」-「過剰」

項目	前回調査	今回調査	
	最近3ヵ月 〔2010年 10～12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1～3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4～6月〕
全産業	1.8	※ 3.4	0.7
小規模企業	6.3	4.4	1.7
中小企業	▲ 1.1	2.5	0.6
中堅企業	7.4	5.3	0.0
製造業	▲ 4.9	▲ 1.2	▲ 4.0
小規模企業	15.0	7.1	▲ 3.6
中小企業	▲ 7.0	▲ 4.3	▲ 4.7
中堅企業	▲ 4.8	4.6	▲ 1.5
非製造業	5.2	5.5	2.8
小規模企業	4.9	4.0	2.6
中小企業	2.5	5.8	3.0
中堅企業	16.5	6.7	1.9

※全産業の雇用判断(最近3ヵ月)の内訳
「不足」12.9% 「適正」77.7% 「過剰」9.5%

【参考】

「不足」-「過剰」

項目	前回調査	今回調査		
	最近3ヵ月 〔2010年 10～12月〕	最近3ヵ月 〔2011年 1～3月〕	今後3ヵ月 〔2011年 4～6月〕	
地域別	神戸地域	2.7	7.8	6.8
	阪神地域	2.8	11.4	5.1
	播磨地域	0.0	1.4	▲ 3.7
	丹波・但馬地域	0.0	0.0	1.4
	淡路地域	4.5	▲ 12.3	▲ 16.0
業種別	製造業	▲ 4.9	▲ 1.2	▲ 4.0
	建設業	12.0	8.8	3.8
	卸売業	▲ 8.7	▲ 1.3	▲ 1.3
	小売業	▲ 2.1	▲ 4.5	▲ 6.1
	不動産業	1.8	4.5	0.0
	運輸業	7.9	3.4	10.5
	飲食業	44.4	23.1	15.4
	医療・保健衛生	29.0	20.0	19.4
	サービス業	9.2	17.4	9.9
	その他	12.5	1.9	▲ 5.7

7. 新入社員の採用状況

(1) 新入社員の採用状況

全産業・・・「採用の予定なし」が 68.2%と全体の 7 割弱を占める一方で、①「多数の応募があり厳選できた」が 10.5%、②「何とか採用予定数を確保できた」が 11.9%と、①②合計の「予定数を採用できた」企業が 22.4%と 2 割強となっている。

業種別・・・「採用の予定なし」が、『製造業』で 67.5%、『非製造業』で 68.7%である。一方、「予定数を採用できた」企業は、『製造業』が 24.6%、『非製造業』が 21.6%と、『製造業』と『非製造業』とではそれぞれの割合に差はない。

規模別・・・「採用の予定なし」は、『小規模企業』で 86.3%と 9 割近くにのぼる。また、『中小企業』が 70.8%、『中堅企業』が 38.0%となっており、規模の小さい企業では新入社員を採用する予定はない。『中堅企業』では、新入社員を「厳選できた」とする先が 26.3%と多かった。

【参考】

地域別・・・『丹波・但馬地域』において、「予定数を採用できた」企業が 14.3%と、他の地域に比べて、その割合が幾分小さい。

業種別・・・『医療・保健衛生』において、「採用の予定なし」が 32.3%となっており、他の業種に比べて、その割合が小さい(採用予定のある企業が多い)。前項の雇用判断DIで20.0と人員の不足感が高めであったが、この不足感を反映したものであると思われる。

(2) 採用にあたって苦労したこと

採用にあたって苦労したことを任意に記入してもらったところ、以下の意見が寄せられた。

- ・「中小企業への就職を希望する人が少ない」、「二次募集をかけたが反応が鈍い」など、応募者自体が少ないとする意見。
- ・「質的に不満な人の応募が多い」、「即戦力の人材が見つからない」、「良い人材に恵まれない」など、応募者の質に関する意見。
- ・「内定者から辞退の申し出が複数あった」というように、内定を出したにもかかわらず、自社に就職しなかったという意見。
- ・「ハローワークに募集をかけている」、「派遣会社を通じて」など、自社以外のルートを利用しているという意見。

項目	①+② 予定数を採用できた							合計
	① 多数の応募があり厳選できた	② 何とか採用予定数を確保	③ 採用予定数に満たず	④ 募集したに応募なし	⑤ 採用の予定なし	⑥ 無回答		
全産業	22.4	10.5	11.9	3.3	2.4	68.2	3.7	100.0
小規模企業	4.3	1.6	2.7	1.1	2.7	86.3	5.5	100.0
中小企業	20.4	9.0	11.4	3.1	2.4	70.8	3.3	100.0
中堅企業	50.9	26.3	24.6	6.4	1.8	38.0	2.9	100.0
製造業	24.6	13.7	10.9	3.0	1.8	67.5	3.0	100.0
小規模企業	7.2	3.6	3.6	0.0	0.0	85.7	7.1	100.0
中小企業	18.3	9.4	8.9	3.8	1.3	73.6	3.0	100.0
中堅企業	55.3	33.8	21.5	1.5	3.1	38.5	1.5	100.0
非製造業	21.6	9.1	12.5	3.4	2.7	68.7	3.6	100.0
小規模企業	3.9	1.3	2.6	1.3	3.3	87.6	3.9	100.0
中小企業	21.5	8.8	12.7	2.8	3.0	69.4	3.2	100.0
中堅企業	48.6	21.9	26.7	9.5	1.0	37.1	3.8	100.0

項目	①+② 予定数を採用できた							合計	
	① 多数の応募があり厳選できた	② 何とか採用予定数を確保	③ 採用予定数に満たず	④ 募集したに応募なし	⑤ 採用の予定なし	⑥ 無回答			
地域別	神戸地域	26.1	12.1	14.0	1.9	2.2	66.7	3.1	100.0
	阪神地域	21.5	11.4	10.1	1.3	2.5	67.1	7.6	100.0
	播磨地域	20.1	9.9	10.2	5.1	2.0	70.1	2.8	100.0
	丹波・但馬地域	14.3	5.7	8.6	5.7	4.3	71.4	4.3	100.0
	淡路地域	25.6	11.0	14.6	2.4	2.4	65.9	3.7	100.0
業種別	製造業	24.6	13.7	10.9	3.0	1.8	67.5	3.0	100.0
	建設業	17.4	7.5	9.9	3.7	1.9	74.5	2.5	100.0
	卸売業	26.1	11.5	14.6	0.6	1.9	69.4	1.9	100.0
	小売業	16.5	7.5	9.0	4.5	3.0	76.1	0.0	100.0
	不動産業	10.6	3.0	7.6	1.5	1.5	74.2	12.1	100.0
	運輸業	22.4	12.1	10.3	5.2	3.4	69.0	0.0	100.0
	飲食業	15.4	15.4	0.0	7.7	0.0	61.5	15.4	100.0
	医療・保健衛生	41.9	16.1	25.8	6.5	9.7	32.3	9.7	100.0
	サービス業	26.1	8.7	17.4	5.4	3.3	60.9	4.3	100.0
その他	20.7	7.5	13.2	3.8	3.8	69.8	1.9	100.0	

8. 後継者について

(1) 後継者の検討の有無

全産業・・・「考えている」が 58.5%、「考えていない」が 20.6%、「わからない」が 19.5%となっている。

規模別・・・「考えている」企業は、『小規模企業』が 49.7%と約 5 割であるのに対して、『中小企業』が 60.9%、『中堅企業』が 59.6%と、それぞれ 6 割近辺となっており、両者の間に 1 割程度の差があった。

また、『小規模企業』では、「考えていない」が 29.0%と、『中小企業』や『中堅企業』に比べてその割合が大きくなっている。

(2) 誰を後継者に考えているか

全産業・・・「考えている」と回答した会社に、誰を後継者に考えているかを尋ねたところ、「子ども」が 60.7%、「子ども以外の親族」が 11.5%、「従業員」が 9.7%であった。

規模別・・・「子ども」を後継者として考えている企業は、『小規模企業』が 70.3%、『中小企業』が 58.6%、『中堅企業』が 58.8%といずれも最も多いが、『小規模企業』において「子ども」を後継者に考えている企業が多い。

後継者として考える2番目の人物を見ると、『中小企業』では「子ども以外の親族」の 13.4%、『中堅企業』では「従業員」の 10.8%が、わずかながら割合が大きい。

	全企業		小規模企業		中小企業		中堅企業	
	社数	(%)	社数	(%)	社数	(%)	社数	(%)
考えている	608	58.5	91	49.7	411	60.9	102	59.6
考えていない	214	20.6	53	29.0	132	19.6	24	14.0
わからない	203	19.5	36	19.7	122	18.1	44	25.7
無回答	14	1.3	3	1.6	10	1.5	1	0.6
合計	1,039	100.0	183	100.0	675	100.0	171	100.0

	全企業		小規模企業		中小企業		中堅企業	
	社数	(%)	社数	(%)	社数	(%)	社数	(%)
考えている	608	100.0	91	100.0	411	100.0	102	100.0
子ども	369	60.7	64	70.3	241	58.6	60	58.8
子ども以外の親族	70	11.5	7	7.7	55	13.4	8	7.8
従業員	59	9.7	8	8.8	40	9.7	11	10.8
その他	31	5.1	4	4.4	22	5.4	5	4.9
無回答	79	13.0	8	8.8	53	12.9	18	17.6

9. トピックス

—花見の予定について—

話題のひとつにさせていただければと考え、調査時期にちなんだ質問を盛り込みました。
今回は、花見の予定についてお聞きしました。

(1)花見の予定の有無

全産業・・・「行く」が 27.5%、「行かない」が 70.7%となっており、概ね3対7の割合でした。

地域別・・・「行く」予定の会社は、『神戸地域』が 27.5%、『阪神地域』が 35.4%、『播磨地域』が 31.6%と3割近辺であるのに対し、『丹波・但馬地域』は 15.7%、『淡路地域』は 13.4%となっており、神戸・阪神・播磨の3地域の約半分という結果でした。

この地域的な差は、花見スポットまでの交通の便の良し悪しにあると考えられます。職場の慰労会を兼ねて花見に行く会社の場合、アルコール類を飲むことが多いと予想され、目的地までの移動は、電車、バス、タクシー、徒歩などになります。また、行き先についても会社の近隣がほとんどで、交通の便がよい場所が中心となります。その点、『神戸地域』・『阪神地域』・『播磨地域』は、人気の花見スポットの多くが、交通の便がよい場所であり、比較的行きやすい場所にあると言えます。一方、『丹波・但馬地域』・『淡路地域』では、自動車利用による花見となるケースが多いため、これがネックとなり花見の予定が少なくなっていると思われます。

(2)予定の行き先

花見に行く予定のある会社の行き先の上位(複数回答)は、「会社敷地内」と「須磨浦公園」が 12 件で最も多く、以下、「夙川公園」が 11 件、「明石公園」が 10 件、「姫路城」が 7 件などとなっています。いずれも、会社に近い人気スポットを予定されているようです。

(%)

		行く	行かない	無回答	合計
全体		27.5	70.7	1.7	100.0
地域別	神戸地域	27.5	71.3	1.2	100.0
	阪神地域	35.4	63.3	1.3	100.0
	播磨地域	31.6	66.1	2.3	100.0
	丹波・但馬地域	15.7	78.6	5.7	100.0
	淡路地域	13.4	86.6	0.0	100.0

[花見予定の上位スポット] (複数回答)

1位	1位	3位	4位	5位	6位
会社敷地内	須磨浦公園 (神戸市須磨区)	夙川公園 (西宮市)	明石公園 (明石市)	姫路城 (姫路市)	王子動物園 (神戸市灘区)
12	12	11	10	7	6

IV.【参考】景況判断内訳明細

景況判断

DI = 「良い」 - 「悪い」

項 目	前回調査				今回調査							
	最近3ヵ月 〔 2010年 10~12月 〕				最近3ヵ月 〔 2011年 1~3月 〕				今後3ヵ月 〔 2011年 4~6月 〕			
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
全産業	9.9	45.7	44.4	▲ 34.5	10.3	48.5	41.2	▲ 30.9	8.8	51.8	39.4	▲ 30.6
小規模企業	7.0	48.3	44.8	▲ 37.8	9.4	48.1	42.5	▲ 33.1	8.8	47.0	44.2	▲ 35.4
中小企業	11.0	42.7	46.3	▲ 35.3	11.2	47.5	41.4	▲ 30.2	9.1	50.8	40.0	▲ 30.9
中堅企業	9.0	55.2	35.9	▲ 26.9	8.2	52.0	39.8	▲ 31.6	7.1	60.6	32.4	▲ 25.3
製造業	12.1	49.3	38.7	▲ 26.6	10.4	47.7	41.9	▲ 31.5	9.8	49.7	40.5	▲ 30.7
小規模企業	15.0	55.0	30.0	▲ 15.0	21.4	57.1	21.4	0.0	14.3	46.4	39.3	▲ 25.0
中小企業	13.1	45.7	41.2	▲ 28.1	10.3	46.4	43.3	▲ 33.0	9.9	48.3	41.8	▲ 31.9
中堅企業	8.2	59.0	32.8	▲ 24.6	6.2	47.7	46.2	▲ 40.0	7.7	56.9	35.4	▲ 27.7
非製造業	9.0	44.4	46.6	▲ 37.6	10.2	49.1	40.7	▲ 30.5	8.4	52.6	39.0	▲ 30.6
小規模企業	5.8	47.1	47.1	▲ 41.3	7.2	46.7	46.1	▲ 38.8	7.9	46.7	45.4	▲ 37.5
中小企業	9.9	41.5	48.6	▲ 38.6	11.6	48.1	40.3	▲ 28.7	8.9	51.9	39.3	▲ 30.4
中堅企業	9.6	53.0	37.3	▲ 27.7	9.5	55.2	35.2	▲ 25.7	6.7	63.5	29.8	▲ 23.1

【参考】

項 目	前回調査				今回調査								
	最近3ヵ月 〔 2010年 10~12月 〕				最近3ヵ月 〔 2011年 1~3月 〕				今後3ヵ月 〔 2011年 4~6月 〕				
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	
地域別	神戸地域	7.3	46.8	45.9	▲ 38.7	10.0	50.5	39.6	▲ 29.6	7.6	55.8	36.6	▲ 29.0
	阪神地域	10.0	40.0	50.0	▲ 40.0	19.2	43.6	37.2	▲ 17.9	17.9	46.2	35.9	▲ 17.9
	播磨地域	11.5	44.7	43.8	▲ 32.2	10.5	49.0	40.5	▲ 30.0	10.8	49.0	40.2	▲ 29.5
	丹波・但馬地域	17.9	53.6	28.6	▲ 10.7	7.2	44.9	47.8	▲ 40.6	2.9	57.4	39.7	▲ 36.8
	淡路地域	9.1	50.0	40.9	▲ 31.8	4.9	39.0	56.1	▲ 51.2	1.2	43.9	54.9	▲ 53.7
業種別	製造業	12.1	49.3	38.7	▲ 26.6	10.4	47.7	41.9	▲ 31.5	9.8	49.7	40.5	▲ 30.7
	建設業	8.9	42.7	48.4	▲ 39.5	15.5	41.0	43.5	▲ 28.0	8.1	45.0	46.9	▲ 38.8
	卸売業	8.0	41.3	50.7	▲ 42.7	5.7	40.8	53.5	▲ 47.8	7.7	44.2	48.1	▲ 40.4
	小売業	6.1	38.8	55.1	▲ 49.0	10.4	41.8	47.8	▲ 37.3	1.5	52.2	46.3	▲ 44.8
	不動産業	7.3	49.1	43.6	▲ 36.4	4.6	67.7	27.7	▲ 23.1	15.6	57.8	26.6	▲ 10.9
	運輸業	16.2	54.1	29.7	▲ 13.5	15.5	55.2	29.3	▲ 13.8	12.3	56.1	31.6	▲ 19.3
	飲食業	11.1	22.2	66.7	▲ 55.6	15.4	23.1	61.5	▲ 46.2	15.4	38.5	46.2	▲ 30.8
	医療・保健衛生	16.7	63.3	20.0	▲ 3.3	12.9	80.6	6.5	6.5	6.7	93.3	0.0	6.7
	サービス業	3.1	46.9	50.0	▲ 46.9	8.7	58.7	32.6	▲ 23.9	7.6	65.2	27.2	▲ 19.6
その他	15.8	39.5	44.7	▲ 28.9	9.4	49.1	41.5	▲ 32.1	7.5	50.9	41.5	▲ 34.0	